

分科会

新しい時代を伸びやかに生きる

～社会に開かれた質の高い幼児教育を～

令和という新元号となり、予想が難しいと言われる新しい時代を子どもも保育者も保護者もその人らしく伸びやかに生きていくために質の高い幼児教育を実践し、この営みの大切さを社会に開き、伝え、共有し、皆で子どもをまんやかにして進んでいきます。

愛知大会では(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構の令和4・5年度教育研究主題である「新しい時代を伸びやかに生きる～社会に開かれた質の高い幼児教育を～」を研究テーマとし、12の分科会において研究協議を行います。

● ディレクターとは？

分科会当日だけでなく、準備段階から当日までの統括を行います。
各分科会独自のビジョンを提示し、話題提供者・助言者・開催県の分科会担当者(担当園)などと連携をとりながら、分科会の企画・運営に当たります。

● 話題提供者とは？

保育現場からの実践に基づく報告、実践研究を行う上で必要と思われる最新の情報、幼児教育を取り巻く課題などの話題を提供していただきます。
仲間の保育実践に学ぶとともに、研究者・実践家などの専門的な立場からの話題提供を得て、視野を広げ、日常の指導に活かしたいというのがねらいです。

● 分科会運営委員とは？

各分科会の当日の運営がスムーズにいくために、多面的に見届けていただくことと、東海北陸地区の研究が積み重なっていくことを支えていただきます。

● 助言者とは？

実践や研究に対する講評や指導助言をいただき、分科会参加者と同じ目線で研究を支えていただきます。学問と教育現場・保育実践をつなぎ、連携を深めるという役割を担っていただきます。

● 話題提供などの資料は当日配布します。

各分科会の話題提供等の資料は、その分科会参加者に分科会当日、受付で配布します。
Web分科会の資料は、申し込み時にご登録いただいたメールアドレスに事前にお送りします。
なお、タイムスケジュールは変更する場合がありますので、ご了承下さい。

7月29日(金) 9:30~15:30

	テーマ・よびかけ	担当県	開催形式	ディレクター	園名
第1分科会	園の安全管理体制・危機管理体制を考える 子ども達の安心安全な園生活の為に私達が出来る事を考えましょう。	静岡県	対面	十鳥 ゆりか	富士光明幼稚園
第2分科会	教育課程の編成と評価・改善 カリキュラム・マネジメントに全教職員が関わっていますか？	富山県	対面	藤島 秀恵	リンデ幼稚園
第3分科会	発達の連続性を踏まえた幼児期の学び 幼児期の育ちとは、誕生からの育ちと学びの連続性によるものです。そこで大切な育ちと、学びのプロセスを大切にしたい保育とは、どのようなものでしょうか。子どもの育ちや学びの姿を語り合いながら一緒に考えていきましょう。	福井県	対面	梅田 英美	報徳幼稚園
第4分科会	社会性の育ちと規範意識の育ち 集団生活の中に出現する問題行動やトラブルは、保育者としてどのように関われば子どもの社会性の育ちに繋がるのか考えましょう。	岐阜県	対面	浅野 教史	いづみ中央幼稚園
第5分科会	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた保育実践 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を保育実践例の中からみとり、保育の振り返りをし保育の質の向上につなげよう	長野県	対面	垂澤 優樹	認定こども園 須坂双葉幼稚園
第6分科会	子どもの育ちを共有するための様々な記録とその活用 より良い保育実践につなげることができる記録や共有の方法について考えましょう。	静岡県	対面	田村 都弥	追分幼稚園
第7分科会	特別な支援を必要とする幼児への指導と家庭との連携 共に育ちあうために	三重県	対面	坂 久美子	津田大山田幼稚園
第8分科会	遊びが充実するための環境と保育実践 豊かな教育環境、「自然」について見つめなおし、子どもたちの遊びを深めていこう!	石川県	対面	油田 美沙	金石幼稚園
第9分科会	保護者の理解を深める「保育の見える化」を考える より良い実践につながる「見える化」について語り合しましょう。	愛知県	対面	楠見 由紀	桂幼稚園
第10分科会	幼児教育と小学校教育の円滑な接続 幼児期から小学校期にかけて育てたい力とは何か。幼児の発達の姿から考えよう。	愛知県	対面	松元 貴子	はなの木幼稚園
第11分科会	子どもの健康な心と体を育む食育を考える 食育のたいせつさを考えてみましょう。	愛知県	Web	大谷 喜久子	みちる幼稚園
第12分科会	自ら学びともに育ちあう対話型チームづくり チームを率いるリーダーの皆さん、対話型チームづくりのエッセンスを実践的に学びましょう。	愛知県	Web	村手 敦	幼保連携型認定こども園 九品寺幼稚園
10:00~12:00	PTA ファミリーコンサート 「ケチャップマヨネーズ？」	愛知県	対面		

第1分科会

園の安全管理体制・ 危機管理体制を考える

研修俯瞰図記号

A3

担当県

静岡県

よびかけ

子ども達の安心安全な園生活の為に私達ができる事を考えましょう。

分科会のねらい

子ども達が園内において、安心して安全な生活を送る為には、環境の配慮や、指導の工夫が必要となります。子どもの生命を尊重し、安全を確保する為の能力を身に付けさせる取り組みを、各家庭と連携して進める事が大切でしょう。また安全管理及び危機管理のマニュアル等の質の向上を目指した体制を整える事も必要です。

安心安全な園生活の為に、私たちが出来る事を考えましょう。

研究の手がかり

- 子どもが園生活の中で、安全を意識して生活するようになる為には、どのような環境の構成や教師の関わりが必要か考えてみましょう。
- マニュアル等の質の向上に向けて、園の安全管理、危機管理体制について考えてみましょう。

話題提供者

関野 奈菜 セキノ ナナ
上野幼稚園

桑野 千秋 クワノ チアキ
上野幼稚園

ディレクター

十鳥 ゆりか ジュウトリ ユリカ
富士光明幼稚園

司会者

森島 チエ子 モリシマ チエコ
星園幼稚園

運営委員

杉山 一夫 スギヤマ カズオ
うめま第一幼稚園

助言者

木宮 敬信 キミヤ タカノブ
常葉大学教育学部 生涯学習学科 教授
大阪教育大学 客員教授

●1969年8月31日生 専門:安全教育学

1995年に神戸大学大学院博士課程を修了。阪神淡路大震災での被災経験をきっかけに防災教育に取り組むようになり、文部科学省委員として児童向けの教材をいくつか作成した。

その後、大阪教育大学附属池田小学校事件を契機に犯罪から子どもを守るための教材の検討に関わるようになり、科学技術振興機構による「犯罪からの子どもの安全」プロジェクトにグループリーダーとして参加し、e-learning教材の作製に携わった。また、静岡県交通安全対策会議委員として、交通安全教育についてもプログラム開発を進めている。

2018年度からは、文部科学省委員として学校安全教材「『生きる力』を育む学校での安全教育」および「学校の危機管理マニュアル作成の手引き」の改訂に携わった。また、バスケットボールの指導者として、浜松大学(現 常葉大学)を西日本大会優勝、東海地区大会5連覇など全国上位の強豪に育て上げ、静岡県国体成年男子チームの監督としても全国3位の成績を収めている。

日本安全教育学会常任理事(2020年静岡大会年次学会長)、日本スポーツ振興センタースポーツ事故防止対策委員、静岡市スポーツ推進審議会会長、静岡工フエム放送(K-MIX)番組審議会会長

その他、県市町教育委員会学校安全推進委員など学外職多数

第1分科会

タイムスケジュール

9:30	開会 オリエンテーション 話題提供 助言者からのコメント 質疑応答
12:00	昼食
13:00	グループワーク グループ発表 助言者による講義(まとめ)
15:30	閉会

第2分科会

教育課程の編成と評価・改善

研修俯瞰図記号 **E1**

担当県

富山県

\よびかけ/

カリキュラム・マネジメントに全教職員が関わっていますか？

分科会のねらい

幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領では、各幼稚園・認定こども園において、全体的な計画に留意しながらも「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ教育課程を編成すること、教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと、教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各園の教育活動の質の向上を図っていくこと、すなわち「カリキュラム・マネジメント」に努めるとしています。また、同解説で、教育課程は、全教職員の協力の下に園長の責任において編成するとされています。しかし、教育要領等の改訂や認定こども園への移行に伴う体制の変化等に伴い、新たに教職員同士の共通理解を深め、園全体の協力体制を構築することが課題となっている現状があります。本分科会では、教育課程に基づき幼児の発達につながる豊かな環境や遊びをどう作り上げていくか、皆様と一緒に学ぶ機会としたいと思えます。

研究の手がかり

- 全教職員の共通理解、協力体制の下で教育課程を編成していくための取組について考えてみましょう。
- 幼児の主体的な活動が確保されるよう計画的に環境を構成するための手立てについて話し合みましょう。

話題提供者

久々江 明 クグエ アカリ
高岡第一学園附属第五幼稚園

江尻 いづみ エジリ イヅミ
富山短期大学付属みどり野幼稚園

梶 義典 カジヨシノリ
富山短期大学付属みどり野幼稚園

ディレクター

藤島 秀恵 フジシマ シュウエ
リンデ幼稚園

司会者

原田 由美 ハラダ ユミ
認定こども園いずみ幼稚園

運営委員

服部 高明 ハットリ コウメイ
サン認定こども園

助言者

開 仁志 ヒラキ ヒトシ
金沢星稜大学 人間科学部 こども学科 教授

幼稚園教諭、小学校教諭を経て、大学で保育者養成に携わっています。「保育者の成長過程」を研究テーマとして取り組んでいます。

全教職員の方の豊かな関わりの中で教育課程が編成され、保育の質向上につながっていく過程に少しでも関わらせていただくことができれば幸いです。

〈主な著書〉

- ・『はじめての保育実践研究』（単著、一藝社、2019年）
- ・『3・4・5歳児の指導計画の立て方』（編著、中央法規出版、2017年）
- ・『0・1・2歳児の指導計画の立て方』（編著、中央法規出版、2017年）
- ・『マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ保育内容総論』（編著、保育出版社、2016年）
- ・『保育現場と養成校のコラボレーション！ 実習生指導サポートブック』（編著、北大路書房、2013年）
- ・『保育指導案大百科事典』（編著、一藝社、2012年）
- ・『実習日誌の書き方—幼稚園・保育所・施設実習完全対応—』（編著、一藝社、2012年）
- ・『これで安心！ 保育指導案の書き方—実習生・初任者からベテランまで』（編著、北大路書房、2008年）
- ・『保・幼・小連携！ 交流ふれあい遊び86選—保育所・幼稚園・小学校の子ども達みんなが笑顔で遊べる！』（単著、明治図書、2006年）

第2分科会

タイムスケジュール

9:30	分科会の趣旨説明
9:45	話題提供者により提案
10:40	提案に基づいたグループディスカッション
11:30	質疑応答
12:00	昼食
13:00	グループディスカッション
14:00	グループ発表
14:40	助言者によるまとめ
15:30	閉会

第3分科会

発達連続性を踏まえた 幼児期の学び

研修俯瞰図記号

C2

担当県

福井県

よびかけ

幼児期の育ちとは、誕生からの育ちと学びの連続性によるものです。そこで大切な育ちと、学びのプロセスを大切にしたい保育とはどのようなものでしょうか。子どもの育ちや学びの姿を語り合いながら一緒に考えていきましょう。

分科会のねらい

子どもの発達には、その前に必ず芽生えや備えの育ちがあります。常に前の状態を受けて、様々な経験を通して、少しずつ進むものです。大人から見ると、意味のないこと、無駄なことをしているように見える時でも、将来につながる学びがあります。そこで、この分科会では、「発達連続性」について話し合い、日々の子どもの姿を受け止めながら、幼児期の学びについて考えていきます。

研究の手がかり

- 園での生活や遊びの中で見られる子どもの育ちや学びの連続性とは、具体的にどのような場面で見られる、どのような姿でしょうか。
- 育ちや学びの連続性を踏まえた保育実践にあたり、考慮すべき環境構成や環境の再構成、援助の工夫はどのようなものでしょうか。
- 子どもの育ちや学びの連続性について、職員間で共通理解し、実践の質の維持・向上に結び付けるには、どのような工夫が必要でしょうか。

話題提供者

大柳 世津子 オオヤナギ セツコ
認定こども園 福井佼成幼稚園

森川 友理子 モリカワ ユリコ
認定こども園 福井佼成幼稚園

大久保 美佐 オオクボ ミサ
みどりこども園

西畑 早苗 ニシハタ サナエ
みどりこども園

ディレクター

梅田 英美 ウメダ ヒデミ
報徳幼稚園

司会者

高木 薫子 タカギ カオルコ
認定こども園 梅園幼稚園

運営委員

小林 直樹 コバヤシ ナオキ
富士中央幼稚園

助言者

北野 幸子 キタノ サチコ
神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 人間発達専攻 教授

〈専門分野〉

乳幼児教育学、保育学、保育領域の専門性

〈役職等〉

環太平洋乳幼児教育学理事(2004年～現在)
日本乳幼児教育学会理事(2015年～現在)
日本保育学会理事(2016年～現在)
全国保育士会キャリアアップ検討特別委員長(2015年～2017年)

〈主な著書〉

『手がるに園内研修メイキング』、わかば社(共著)、2016年。
『認定こども園の時代』、ひかりのくに(共著)、2015年。
『保育課程論』、北大路書房(編著)、2011年。
『子どもの教育原理』、建帛社(編著)、2011年。
『保育原理』、全国社会福祉協議(共著)、2011年。
『乳幼児の教育保育課程論』、(編著)、2010年。
『学び・生活・学びを培う教育保育の方法と技術』、(共編著)、2009年。

第3分科会

タイムスケジュール

- 9:30 開会、オリエンテーション、
主旨説明
- 9:40 話題提供①
話題提供②
休憩
助言者による講評
- 12:00 昼食
- 13:00 グループワーク
グループワークの発表
助言者による講評
- 15:30 閉会

第4分科会

社会性の育ちと規範意識の育ち

研修俯瞰図記号

C2

担当県

岐阜県

よびかけ

集団生活の中に出現する問題行動やトラブルは、保育者としてどのように関われば子どもの社会性の育ちに繋がるのか考えましょう。

分科会のねらい

幼稚園における集団生活は、社会生活のスタートでもあり、その中で様々なことを学び育っていきます。子どもの社会性や規範意識も、この集団生活の中における様々な経験・刺激・負荷によって育まれます。時には、これらの経験は子どもにとって都合の良いことばかりではありません。様々な考えを持った集団の中で共生することにより、我慢や忍耐を覚えたり、皆で従わなければならないルール遵守の意識を芽生えさせていきます。しかし、近年は保育者も保護者も集団生活でのトラブルが発生するとすぐに取り除こうとする風潮があるのも事実です。これでは子どもに大切な経験をさせることができません。問題が起きたとき、保育者がその事実を適切に社会性の育みに繋がれば、問題やトラブルが良薬へ変化するのです。特に集団遊びの場面では、子どもの社会性や規範意識の育ちに繋がる場面が多く見受けられることから、活発な集団遊びを通した社会性を育む機会を有効に活用することが重要となります。では、遊びの場面で多く見られる様々な問題行動、トラブル、言い争い、ルール無視などの状況を保育者として、どのように関わることが良いのでしょうか？この分科会では、色々な場面を想定し、子どもの社会性や規範意識の育みにつなげる対処方法について考えていきたいと思ひます。

研究の手がかり

- 幼児の社会性や規範意識を高めるためには、どのような保育プログラムや環境を設定することが大切であるのかを考えてみましょう。
- 保育の集団生活で見られる様々な人間関係のトラブルを、どのように対処すれば育みの「良薬」とできるのか、具体的な事例を通して考えてみましょう。

話題提供者

水田 晃平 ミスタ コウヘイ
はなぞの幼稚園

岸本 卓也 キシモト タクヤ
はなぞの幼稚園

ディレクター

浅野 教史 アサノ タカフミ
いづみ中央幼稚園

司会者

松井 純子 マツイ ジュンコ
笠松幼稚園

運営委員

唐嶋 田鶴子 カラシマ タツコ
認定こども園 福野青葉幼稚園

助言者

今村 光章 イマムラ ミツユキ
岐阜大学教育学部 教授

1965年 滋賀県生まれ。
京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。
福井県の仁愛女子短期大学教員などを経て、2003年より岐阜大学教員。

専門分野は、幼児期の環境教育と幼児教育思想。
最近では、記述式エピソード法を用いた園内研修会の在り方について研究をしている。また、園内研修会で使えるワークショップやアイスブレイクなどの方法についても研究を進めている。
幼児期の環境教育研究の一環として、「森のようちえん」研究を行っている。

幼児教育の現場と、研修・研究の現場の中に自らの身をおきながら、現場の幼稚園教諭と一緒に子どもを見つめ・考える「現場主義」の研修を進めている。

著書に、「アイスブレイク」(2014年)、「森の幼稚園」(2011年)、「ディーブ・コミュニケーション」(2003年)など多数。

第4分科会

タイムスケジュール

9:30	開会
	オリエンテーション
	話題提供
	話題提供者への質疑応答
	助言者のコメント
12:00	昼食
13:00	グループディスカッション
	助言者によるまとめ
15:30	閉会

第5分科会

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた保育実践

研修俯瞰図記号

D1

担当県

長野県

よびかけ

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」を保育実践例の中からみとり、保育の振り返りをし保育の質の向上につなげよう

分科会のねらい

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」が園での遊びや生活の中でどう育っているか、保育実践例を参考に共に考えていきたいと思います。本分科会では「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」への理解を深めると共に、グループディスカッションを通じて現在抱える保育の悩みや自園の保育の振り返りを行い、保育の質の向上を目指すことを目的としています。

研究の手がかり

- 園における子どもの遊びや生活の中で、どのような育ちが見られ、「10の姿」に繋がっているのでしょうか？
- 「10の姿」を描き出すための保育者の環境構成・工夫とはどのようなものが考えられますか？
- グループディスカッションを通じ、どのような環境構成が必要か、自園の保育を振り返りながらもう一度考えてみましょう。

話題提供者

関 香保里 セキ カホリ
前長野幼稚園主任

小山 和美 コヤマ カズミ
泉園幼稚園

ディレクター

垂澤 優樹 タレサワ ユウキ
認定こども園須坂双葉幼稚園

司会者

長橋 益子 ナガハシ マスコ
認定こども園吉田マリア幼稚園

運営委員

加藤 貴久美 カトウ キクミ
白銀幼稚園

助言者

金山 美和子 カナヤマ ミワコ
長野県立大学 健康発達学部 こども学科 准教授

〈専門分野〉

幼児教育学、保育学、子育て支援

〈学歴〉

新潟大学教育学部幼稚園教員養成課程卒業、上越教育大学大学院学校教育研究科幼児教育専攻修了

〈職歴〉

私立幼稚園教諭として11年間勤務の後、上越市女性相談員、上田女子短期大学専任講師、長野県短期大学講師を経て現職

〈社会活動歴等〉

NPO法人子育てひろば全国連絡協議会専門アドバイザー(平成22年～)
NPO法人マミーズ・ネット理事(平成16年～)
信州幼児教育支援センターアドバイザー・メンバー(令和元年～)

〈委員歴〉

長野県社会福祉審議会子育て支援専門分科会会長(令和元年～)
長野県将来世代応援県民会議委員(平成29年～)
長野県私立学校審議会委員(平成30年～)
長野県社会福祉審議会児童福祉専門分科会保育所審査部会委員(令和3年～)

〈著書〉

「遊び込む子どもを支える幼稚園カリキュラム～未来の幼児教育・保育のために～」学文社(分担執筆)2019年
「未来を拓く保育の創造」学術図書出版(分担執筆)2019年
「子どもが育つ環境と保育の指導演」保育出版会(分担執筆)2016年
「家庭支援の理論と方法 -保育・子育て・障害児支援・虐待予防を中心に-」金子書房(共著)2015年

第5分科会

タイムスケジュール

- 9:30 開会、オリエンテーション、趣旨説明
- 9:50 話題提供①
- 10:20 話題提供②
- 10:50 質疑応答、休憩
- 11:30 助言者からのコメント、協議の柱の設定
- 12:00 昼食
- 13:00 グループディスカッション、グループ発表、助言者によるまとめ
- 15:30 閉会

第6分科会

子どもの育ちを共有するための 様々な記録とその活用

研修俯瞰図記号

D2

担当県

静岡県

よびかけ

より良い保育実践につなげることができる記録や共有の方法について考えましょう。

分科会のねらい

子どもの姿を深く理解するためには、様々な角度から捉えたことを多様な方法を用いて記録し、その記録を効果的に活用しながら、子どもの学びの過程をみつめていくことが大切です。そして、その記録をもとに、保育者同士で子どもの育ちを共有し、保護者や関係機関とも成長の道筋を共有することにより、より良い保育実践につながることでしょう。子どもの育ちを共有するための記録や効果的な活用について、考えてみましょう。

研究の手がかり

- 写真、動画、文章等を使った様々な記録方法について考えてみましょう。
- 保育者間での日々の共有や研修等での活用、保護者や関係機関との情報共有など、記録の活用の方法について考えてみましょう。

話題提供者

平林 美帆 ヒラバヤシ ミホ
幼保連携型認定こども園 すだじこども園

中田 晴香 ナカダ ハルカ
幼保連携型認定こども園 すだじこども園

ディレクター

田村 都弥 タムラ クニミツ
追分幼稚園

司会者

村松 恵子 ムラマツ ケイコ
幼保連携型認定こども園 こども広場あんり

運営委員

荒川 慈文 アラカワ ヨシフミ
認定こども園 新田塚幼稚園

助言者

高橋 功 タカハシ イサオ
元常葉大学 准教授

第6分科会

タイムスケジュール

9:30 開会・分科会趣旨説明

9:45 話題提供・質疑応答

助言者による講評・提案

12:00 昼食

13:00 グループディスカッション

グループ発表

助言者によるまとめ

15:30 閉会

〈学歴〉

1965年4月 - 1969年3月 東海大学 文学部 日本文学科

〈経歴〉

2004年4月 - 2011年3月 東海大学附属本田記念幼稚園 園長
2011年4月 - 2012年3月 鎌倉女子大学・東海大学 非常勤講師
2013年4月 - 2019年3月 常葉大学 教育学部初等教育課程 准教授

〈主な著書〉

「出る杭を伸ばせ」高橋 功、角田政芳 他
(発明協会 2008年6月)
「保育原理 世界の保育者と共に」小泉裕子編著 高橋 功 その他
(学芸出版 2013年4月)

第7分科会

特別な支援を必要とする幼児への指導と家庭との連携

研修俯瞰図記号

D3

担当県

三重県

\よびかけ/ 共に育ちあうために

分科会のねらい

一人一人の育ちに寄り添い、個々の実態に合わせたかかわりを大切にしながら、日々幼児と過ごしている私たち。特別な支援を必要とする幼児には、より細やかで丁寧なかかわりが求められます。その前提には、家庭と園との連携・協力が不可欠です。保護者の心情を理解しつつ、必要な支援を行い、安心して園生活を送ることができるようになるためには、どのような配慮をしていけばよいでしょうか。さらに共に育ちあうためのかかわりについて、幼児・保護者・園、それぞれの目線から考えてみましょう。

研究の手がかり

- 園生活において幼児が抱える課題を探りながら、その子が何を求めているのかをとらえてみましょう。
- 幼児の家庭における実態を絡めながら、その子の理解を深めましょう。
- 特別な支援を必要とする子どもを抱える家庭に向けて、園としてのスタンスや連携の在り方について考えてみましょう。

話題提供者

田中 ポール タナカ ポール
マリア・モンテッソーリ幼稚園

ディレクター

坂 久美子 バンクミコ
津田大山田幼稚園

司会者

山中 淳子 ヤマナカ アツコ
ときわ幼稚園

運営委員

西片 紀美子 ニシカタ キミコ
認定こども園松本光明幼稚園

助言者

西垣 吉之 ニシガキ ヨシユキ
中部学院大学 教育学部 子ども教育学科 教授

私は日頃、子どもたちが子どもらしく生き、子どもらしく生活するためにふさわしい社会環境・保育教育環境・家庭環境について、子どもの心や育ちの理解という研究を進めています。研究手法としては、子どもたちや親御さんと実際に関わりをもちながらそこで心揺さぶられた実践を丁寧に省察していく方法をとっています。

〈学歴〉

早稲田大学教育学部教育学科教育学専攻卒業
兵庫教育大学教育研究科幼児教育専修(大学院)修了
現在 中部学院大学 教育学部 子ども教育学科 教授
担当科目:

保育内容総論・幼児理解と援助・幼児指導法・保育教職実践演習・保育内容演習(人間関係)・子ども教育学専門演習・保育原理・教育方法の研究・地域子育て支援実習・保育実習方法研究 等

〈社会における活動等〉

岐阜県福祉サービス第3者評価推進会議児童専門部会委員長(現在に至る)
岐阜県各務原市・本巣市・岐南町の子ども子育て会議会長(現在に至る)
その他、岐阜・愛知・三重県内の保育所・幼稚園の職員研修講師・保護者向け研修の講師を務める。

〈著書〉

「乳幼児保育の理論と実践」(ミネルヴァ書房 編著)
「つながる保育原理」(みらい出版 共著)
「保育内容総論 乳幼児の生活文化」(ミネルヴァ書房)
「幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形材料」(明文書林 共著) 他

第7分科会

タイムスケジュール

9:30	開会 分科会趣旨説明 話題提供 質疑応答 助言者からのコメント
12:00	昼食
13:00	グループディスカッション グループ発表 助言者による講義(まとめ)
15:30	閉会

7

特別な支援を必要とする幼児への指導と家庭との連携

第8分科会

遊びが充実するための環境と 保育実践

研修俯瞰図記号

E4

担当県

石川県

よびかけ

豊かな教育環境、「自然」について見つめなおし、
子どもたちの遊びを深めていこう！

分科会のねらい

皆さんの幼稚園には、どのような自然があるでしょうか。四季折々にどのような姿を見せているのでしょうか。もしかしたら「自然なんてとんでもない！」「うちの園は町の中にあるから・・・」「環境に恵まれた園に限られた話よね」と思われる方もいらっしゃるかもしれません。

本分科会では、遊びと自然について考え、実践に取り組んできた保育者に話題提供をしていただきます。野外のみならず園庭や園舎の中で出会う自然から子どもが遊びを発展させる時、保育者の感性や役割が浮かび上がってきます。「自然」というかけがえのない存在を視野に入れながら、「保育において本当に大事なこと」を、少し立ち止まって一緒に考えてみませんか。

研究の手がかり

- 幼稚園の内外の環境を、自然という観点から、今一度見つめ直してみましよう。
- 最近、子どもたちから自然に関連する発言があったかどうかを振り返ってみましよう。
- 自分自身が幼い頃に、どのように自然と関わっていたのかを思い出してみましよう。

話題提供者

石川県遊ぼう研究会
プロジェクトチーム

ディレクター

油田 美沙 アブラダ ミサ
金石幼稚園

司会者

鮎川 正 アユカワ タダシ
木の花幼稚園

運営委員

平野 宏司 ヒラノ コウジ
キートスガーデン幼稚園

助言者

滝口 圭子 タキグチ ケイコ
金沢大学学校教育系 教授

〈専門分野〉

発達心理学

〈研究テーマ〉

小学校就学前後の接続期の支援、保育・教育現場における発達障害のある子どもの支援、乳幼児を対象とする里山自然活動

〈履歴〉

2001(平成13)年 広島大学大学院教育学研究科 博士後期課程修了
博士(心理学)、三重大学教育学部を経て、2011(平成23)年10月より金沢大学学校教育系所属

〈主な著書〉

「新しい保育講座14 障害児保育」(共著) ミネルヴァ書房 2021年
「新・育ちあう乳幼児心理学」(共著) 有斐閣 2019年
「公認心理師の基本を学ぶテキスト8 学習・言語心理学」(共著) ミネルヴァ書房 2019年

木谷 一人 キダニ カスト

自然体験活動推進協議会コーディネーター、インストラクター・
いしかわ自然学校インストラクター・公認ネイチャゲームインストラクター

2002～ 小学校総合学習指導(ネイチャゲームなど)
2002～ 保育士・小学校教員研修講師
2004・2006 幼児教育・保育のためのプログラム集制作委員
2004～ 保育園・幼稚園からの依頼を受け、自然体験指導
2006・2015・2016 幼稚園など新規採用教員宿泊研修講師
2007～ いしかわ自然学校インストラクター・スクール講師
2008～ 石川県生活環境部温暖化・里山対策室里山こども園
インストラクター
2019～ 石川県私立幼稚園協会遊ぼう研究会講師
近年、年間60回以上、幼稚園・こども園・保育園の子どもたちに自然体験を指導

第8分科会

タイムスケジュール

9:30	開会、オリエンテーション
	話題提供
	グループディスカッション
12:00	昼食
13:00	グループワーク
	グループワーク発表
15:00	助言者によるまとめ
15:30	閉会

8

遊びが充実するための環境と保育実践

第9分科会

保護者の理解を深める 「保育の見える化」を考える

研修俯瞰図記号

E6

担当県

愛知県

よびかけ

より良い実践につながる「見える化」について
語り合しましょう。

分科会のねらい

近年、ラーニングストーリーやポートフォリオ、ドキュメンテーションなど、様々な形で保育を記録し活用する方法が報告されている。これらの記録については、小学校への連携、これまでの保育の振り返りだけにとどまらず、保護者や子ども自身へ記録を開示することにより、保育の質向上を図っていかうとするねらいがある。このような「保育の見える化」を各園がどのように捉え取り組んでいるのか、その実践事例を踏まえながら、保育の質を高める記録の在り方についてフロアとともにディスカッションを行いたい。

研究の手がかり

これまで園で行われていた記録はどのようなものであり、それをどう変えたら保育がどう変わっていったのか、また、保護者の理解がどう変わっていったのか、という視点で捉えていく。

話題提供者

前川 まなり マエカワ マナリ
幼保連携型認定こども園 九品寺幼稚園

村手 珠美 ムラテ タマミ
幼保連携型認定こども園 九品寺幼稚園

徳田 彩乃 トクダ アヤノ
慶和幼稚園

ディレクター

楠見 由紀 クスミ ユキ
桂幼稚園

司会者

村上 芳枝 ムラカミ ヨシエ
ベル三好幼稚園

運営委員

藤森 至 フジモリ イタル
認定こども園 つつじが丘幼稚園

助言者

上田 敏丈 ウエダ ハルトモ
名古屋市立大学 大学院人間文化研究科 教授

広島大学大学院教育学研究科を修了。博士(教育学)。高知学園短期大学、中国学園大学を経て、現職。保育者の専門性、園長のリーダーシップ、園内研修等をテーマに質的な手法を中心に研究している。『保育行為スタイルの生成・維持プロセスに関する研究』(単著)、『複線径路・等至性アプローチが拓く保育実践のリアリティ』(共著)、『子ども理解の理論及び方法』(共著)などがある。中部地区幼児教育研究会代表、なごや子ども・子育て支援協議会委員、日本保育学会理事、日本乳幼児教育学会常任理事などを務める。

第9分科会

タイムスケジュール

9:30	開会
	オリエンテーション
	話題提供
	質疑応答
	助言者からのコメント
12:00	昼食
13:00	グループディスカッション
	まとめ
15:30	閉会

9

保護者の理解を深める「保育の見える化」を考える

第10分科会

幼児教育と小学校教育の円滑な接続

研修俯瞰図記号

F1

担当県

愛知県

よびかけ

幼児期から児童期に育てたい力とはなにか。
幼児の発達の姿から考えよう。

分科会のねらい

幼児が、幼稚園・こども園等の生活から、小学校の生活や学習へ移行する際に、その違いに段差を感じ、戸惑うことも少なくありません。この段差を少なくすることは、保育者に求められる課題の一つと考えられます。では、どのような力が幼児に育っていることが必要なのでしょうか。幼児は、本来、自ら周囲の事象に関わり、興味関心を抱き、知りたい、わかりたい、できるようにになりたいという意欲をもっています。園の生活を通して、こうした主体的な活動が満たされ、自分って結構できるんだという『自己肯定感』をはぐくみ、自信をもって生活していく力が育つことが大切です。では、こうした力を育てるためにはどのような幼児の姿を、保育の中で求めていけばよいのでしょうか。それぞれの園の実践から、そのことを学びあいましょう。

研究の手がかり

- 幼稚園、こども園の生活から小学校に移行するときに、どのようなことに戸惑いを感じていると思いますか。
- 学びの芽生えを支える土台となる力とは何かを一緒に考えましょう。
- アプローチ・カリキュラムではどのような活動をしていますか。

話題提供者

村尾 奈名瀬 ムラオ ナナセ
幼保連携型認定こども園林丘幼稚園

笹野 由美 ササノ ユミ
とやまこども園

片山 奈保 カタヤマ ナオ
とやまこども園

ディレクター

松元 貴子 マツモト タカコ
はなの木幼稚園

司会者

近藤 智子 コンドウ トモコ
幼保連携型認定こども園中山松元幼稚園

運営委員

田中 邦昌 タナカ クニマサ
認定こども園みのる幼稚園

助言者

齋藤 善郎 サイトウ ヨシロウ
元・椋山女学園大学 教授

昭和50年 早稲田大学教育学部教育学科教育心理学専修卒
昭和51年 豊橋才能教育幼稚園に幼稚園教諭として就職し、昭和58年同園園長になり、以後、田原赤石幼稚園園長、林丘幼稚園、幼保連携型認定こども園豊橋才能教育こども園園長を歴任。その間、昭和62年以降、大学等の非常勤講師として学生の指導にもあたってきました。(昭和62年～平成7年豊橋短期大学、平成8年～現在豊橋創造大学短期大学部、平成21年～24年岡崎女子短期大学、平成22年～28年椋山女学園大学、平成23年～24年 愛知東邦大学、平成26年～28年名古屋女子大学)平成29年から椋山女学園大学教授になり、「保育相談支援」「保育内容総論」「保育指導法(言葉)」等を担当し、令和4年3月退任しました。平成24・25年度愛知県幼児教育研究協議会専門委員として、幼小接続について研究し、平成27・28年度愛知県教育振興基本計画検討会委員を歴任しました。

〈主な著書〉

「幼児教育相談」(共編著 1994)
「子どもが生き生きする保育」(共編著 1996)
「子どもの心を育てる保育」(共編著 2000)
「子どもを見る変化を見つめる保育」(共著 2011)

第10分科会

タイムスケジュール

- 9:30 分科会の趣旨説明
- 9:45 話題提供
質疑応答
グループディスカッションに
対する協議の柱を考える
- 12:00 昼食
- 13:00 グループディスカッション
グループ発表
助言者によるまとめ
- 15:30 閉会

10

幼児教育と小学校教育の円滑な接続

第11分科会

子どもの健康な心と体を育む 食育を考える

研修俯瞰図記号

A2

担当県

愛知県

\よびかけ/

食育の大切さを考えてみましょう。

分科会のねらい

食育基本法が設定されてから17年目になります。

「食育」は生きる上での基本であり「知育」「徳育」「体育」の基礎となるべきものと位置づけられます。幼児期は、おいしさを感じる味覚の基礎を作り上げる時期であり、共に食事やその時の会話を楽しみ、コミュニケーションを促進する良い時間でもあります。

今年度の大会のテーマ「新しい時代をのびやかに生きる」を踏まえ、子どもも保育者もその人らしく生きることを考え、子どもの健康な心と体の発達を支える食育のあり方を考える。

研究の手がかり

- 食は「心」「体」の発達にどのように関わるかを考えてみましょう。
- 幼児が家庭でどのように料理を楽しめるかを考えてみましょう。

ディレクター

大谷 喜久子 オオタニ キクコ
みちる幼稚園

司会者

大谷 喜久子 オオタニ キクコ
みちる幼稚園

運営委員

吉田 宏道 ヨシダ ヒロミチ
自由ヶ丘幼稚園

助言者

伊藤 華づ枝 イトウ カヅエ

(株)ハンナプロジェクト 代表取締役
インターティアラ・お料理サロン 校長
「全国お母さんの味を守る会」会長

〈事業内容〉

栄養&給食管理の請負
調理スタッフ及び栄養士、管理栄養士、料理講師の派遣
メニュー開発、メニュープロデュース、料理撮影
テーブルコーディネート、マスコミ出演、本の出版
執筆、講演活動
「食・栄養・健康・医学」を総合的に研究する。
全国で活躍中のマルチ料理研究家
NHKをはじめマスコミ出演。

〈代表的な著書〉

「亭主を早死にさせる家庭料理」
「寝込まないボケない家庭料理」
「食事が変わる良い子・悪い子」
健康料理辞典「新しい家庭の健康料理」
「伊藤華づ枝の発芽玄米、テンペで100歳を目指す」
「食生活全般論 ～世界の食文化&マナー総論～」
レシピ本「私の完熟レシピ」

第11分科会

タイムスケジュール

9:30	開会
	分科会の趣旨説明
9:45	助言者講演
12:00	食事
13:00	助言者によるまとめ
15:30	終了

11

子どもの健康な心と体を育む食育を考える

第12分科会

自ら学びともに育ちあう 対話型チームづくり

研修俯瞰図記号

B5

担当県

愛知県

よびかけ

チームを率いるリーダーの皆さん、対話型チームづくりのエッセンスを実践的に学びましょう

分科会のねらい

先が見通せない時代、これまでの方法論が通用しない時代となった現代。そんな時代における強い組織は、メンバーの一人ひとりが尊重され自立した「対話型組織」であるといわれています。

園が「チーム」となって、メンバーが自発的に学び、たがいに育ちあうために、リーダーたちは何を考え、何を選択し、どう行動すればいいのでしょうか。質の高い保育を目指す強いチームになるために大切にしたいことを、講義とグループワークを通して実践的に学びます。

※本分科会の受講対象者は、学年リーダー以上の各園におけるリーダー的な職務にある方です。有意義なグループワークとするために、経験年数3年以上の方が対象となります。

※参加者1名につき1端末(できればPC)でご参加ください。

研究の手がかり

- 保育の質を高めるよりよい「チーム」のあり方を考えてみましょう。
- 「対話」に有効なファシリテーションのスキルとは何かを考えてみましょう。

ディレクター

村手 敦 ムラテ アツシ
幼保連携型認定こども園 九品寺幼稚園

司会者

村手 敦 ムラテ アツシ
幼保連携型認定こども園 九品寺幼稚園

運営委員

藤城 智哉 フジシロ トモヤ
希望が丘第二こども園

助言者

秦 賢志 ハタ タカユキ

1964年神戸生まれ。工業高校卒業後コピーライターとして広告制作に従事。1992年の地球環境サミットや長良川河口堰建設問題をきっかけに環境教育を学ぶなかで、ファシリテーションやワークショップに出会う。里山やまちづくり系のNPO活動などを経て、2002年に妻が園長を引き継ぐ浜幼稚園のディレクターに就任。

ファシリテーション・スキルを生かし「つながり」「場づくり」をキーワードに教職員や保護者の関係性を再構築。理念、環境、保育内容、園舎園庭などすべてをつくりかえ、2015年から幼保連携型認定こども園に移行し、同時に理事長に就任。現在進行形ではまようちえんをプロデュースし続けている。2018年には企業主導型保育事業ナーサリールーム開設。

2006年より「ファシリテーション」「チームづくり」「リーダーシップ」「園内研修」をテーマに、新任、主任・リーダー、十年経験者、免許更新、園長・設置者を対象に、ワークショップ(体験学習)スタイルの研修を受託。

2012年より(公財)全日本私立幼稚園教育研究機構よりファシリテーター研修を受託し、協力委員として「ECEQ®(公開保育を活用した幼児教育の質向上システム)」のしくみづくりと、その核となるECEQ®コーディネーター養成講座に携わる(継続中)。

NPO法人保育と仲間づくりネット代表理事。全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究研修委員会協力委員。子ども環境アドバイザー。ECEQ®コーディネーター。コーヒーインストラクター。SCAJ コーヒーマスター。サウナ・スパ健康アドバイザー。NPO法人日本に健全な森をつくり直す委員会理事。尼崎市公式Webサイト「尼ノ國」<https://www.amanokuni.jp>にて「尼の民」に選出(平成29年度)。

受賞歴など

こども環境学会こども環境デザイン奨励賞受賞(平成27年度)。内閣官房「日本トイレ大賞」好事例(平成27年度)。文部科学省「これからの幼稚園施設」掲載モデル園(令和元年度)。

第12分科会

タイムスケジュール

9:30	開会
9:40	ディレクターから分科会の 主旨の説明
9:50	講義・グループワーク
12:00	昼食
13:00	講義・グループワーク
15:20	まとめ
15:30	閉会